市　長	副市長	局　長	次　長	係　長	係	記　録

【所属名：ガス水道局】
【会議名：糸魚川浄化センター環境保全会議】

□開示
□一部開示　(理由:条例第　条第　号　該当)
□不開示
□時限不開示　(開示:　　年　　月　　日)

会　議　録

作成日　令和８年 10 月 22 日

日	令和８年 10 月 21 日(水)	時間	13：30　～　14：50	場所	糸魚川浄化ｾﾝﾀｰ２階会議室

件名

協議事項　（公開）

議事

（１）令和７年度事業報告について
- 放流水水質試験
- 公共用水域水質試験
- 内水面水質試験
- 臭気調査
- 臭気測定
- 糸魚川浄化センター工事

（２）令和８年度事業について
- 糸魚川浄化センター工事

（３）その他
- 水洗化率
- 下水汚泥広域処理
- 糸魚川市ガス事業譲渡及び上下水道事業包括委託

出席者

【出席者】　12 人
丸山委員、齊藤委員、小林委員、井澤委員、金子委員、久保田委員
霜越委員、佐藤委員、鷹澤委員、田原委員、倉又委員、吉田委員
【欠席者】　なし
【事務局】　３人
陶山局長、林係長、荻野技術専門員
【同席】　４人
糸魚川二幸株式会社（管理委託先）　齋藤氏、杉原氏、石塚氏、朝日氏

傍聴者定員	無	傍聴者数	０　人

会議要旨

１　開会（13：30）　進行　林係長
２　あいさつ　陶山局長
※今年度は役員改選がないため、委員の紹介はなし。事務局自己紹介のみ。
３　議　事
（１）令和７年度事業報告について（説明：事務局、臭気調査は鷹澤委員）

・放流水水質試験
・公共用水域水質試験
・内水面水質試験
・臭気調査
・臭気測定
・糸魚川浄化センター工事

【質疑・意見】

（委　員）　資料№14の令和７年度糸魚川浄化センター工事の修繕は13,000千円程度となっているが、予算化はされているのか。

（事務局）　毎年修繕費はある程度の金額を予算化し、工事を行っていく中で予算をオーバーしないように執行している。また、どうしても必要な工事については、他の科目から流用して実施する場合もある。その年の状況によって予算の執行額は変わる。

（委　員）　大腸菌の群数が大腸菌数に変わったということだが、何が変わったと考えればいいのか。

（事務局）　これまでは、大腸菌だけを検出するという手法が確立されていなかったが、近年大腸菌だけをピックアップして数えるという手法が確立されてきたことから大腸菌群数から大腸菌数に変わった。飲み水については、令和４年頃から順次大腸菌群数から大腸菌数に変更したが、下水の排出基準が、令和７年度に大腸菌数に変わった。水に関する指標が全て大腸菌数ということになり、より正確に汚れの指標がわかるようになった。

（委　員）　これまでは大腸菌と一緒にある菌の数もカウントされていたということでよろしいか。

（事務局）　よろしい。これまでは、大腸菌とよく似た菌を勘定していたということになる。

（委　員）　資料７、８の内水面水質検査について、ＢＯＤを５か所で測定をしているが、夏場、冬場に数値が高くなることがある。水温や天気の影響を受けるのかと思うが、ＢＯＤの変化について、外的要因（例えば川の水の量など）による分析はしないのか。

（事務局）　ＢＯＤに関しては、内水の部分についても低い値で推移しているので、分析はしづらいところである。資料２での④をみると、ＢＯＤについては、下水道法の基準である15ｍｇ/ℓ以下に対し、協定値は５倍厳しい３ｍｇ/ℓ以下という規定で行ってきている。ＢＯＤや大腸菌数については、気温など気象条件によって左右されるものとなっている。

（委　員）　資料８で竹ケ花川上流と竹ケ花川浄化センター放流口では、下流である浄化センター放流口のほうがＲ６年のＢＯＤの数値が下がっているのはなぜか。

（事務局）　資料８は平均値なので、たまたまそういった数値になったのだと思われる。

（委員長）　当日配布の資料「令和８年度臭気調査報告書」について報告をお願いしたい。

（委　員）　令和７年度の報告とほぼ一緒の状況である。放流口あたりが少しにおうが、全体としてにおいは感じない部分が多かった。

（委員長）　以前に比べて、においはしなくなったと感じている。理由について事務局に聞いたが改善していることは確かだが、明らかな理由はわからないということだった。

（管理業者）最終沈殿池という場所に直射日光が入って藻が発生するため、それを防ぐために数年

前から遮光ネットを設置している。その効果が出て、においが減ったのではないかと推測される。

（委員長）　非常にいい傾向かと思っている。

（管理業者）これまでの協議のなかで、排水管の藻の撤去という話も出ており、きれいにできればいいが、作業的にも大変で危険となる。作業は難しい状況だが、引き続きチャレンジしていきたい。何か違った取り組みもあれば考えていく必要があると思っているので現場と話をしながら進めていきたい。

（委　員）　放流口にゴムマットを敷いているのもにおいの改善につながっていると思う。

（委　員）　メダカが増えている。住民の方が持ち込んできているのかもしれない。持って行って家で飼育する分にはいいと思う。

（２）令和８年度事業計画について（説明：事務局）

・糸魚川浄化センター環境整備

【質疑・意見】

（委　員）　糸魚川浄化センターは、いつごろまで稼働すると想定しているのか。

（事務局）　建物の耐用年数は 50 年、機械は 15 年など決まったものはあるが、そういった周期で修繕等のメンテナンスを行いながら、24 時間稼働を行い、今後も続けていかなければならない施設である。

（３）その他（説明：事務局）

・水洗化率について

・下水汚泥広域処理について

・糸魚川市ガス事業譲渡及び上下水道事業包括委託の公募開始について

・水洗化率について

【質疑・意見】

（委　員）　人口は減っているが、家が建築されれば管を延長したりして増えている部分もあるが、新築はどのくらい増えているのか。

（事務局）　地域内の増減の結果で数値を出しているので、新築の件数については把握していない。

（委　員）　人口が減れば汚水処理の水量も減るのだが、維持費は変わらないと聞いている。未供用の部分の開発を見越しながらも無駄な管の延長はしてほしくないと思っている。

（委　員）　学校の統合等で学校の排水設備は必要がなくなる場合もあるが、将来の計画で採算性や市民への影響を考慮し、下水道処理を考えていただきたい。

（委　員）　表の中で未接続世帯が何世帯かあるが、家の前までは管が敷設されており、家への接続がまだという状況かと思う。それぞれの家庭の事情もあるので、接続の声かけは無理強いはしていないという理解でよいか。

（事務局）　ご家庭の事情もあるので無理強いはしていない。

・下水汚泥広域処理について

【質疑・意見】

（委　員）　汚泥を能生浄化センターから糸魚川浄化センターへ運ぶということだが、例えば道路が通行止めになった場合、汚泥をためておくことは可能か。能生浄化センターは廃止するのか。
（事務局）　能生浄化センターにもある程度汚泥をためておくことができる。能生浄化センターで、汚泥の体積を減らしてから糸魚川に運ぶ予定なので、能生浄化センターを廃止するわけではない。
（委　員）　能生浄化センターでためておく期間はどれくらいか。
（事務局）　年末年始等もそのような対応をしなければならないので、数日間はためておけるよう想定している。
（委　員）　何トン車で運搬するのか。
（事務局）　７トン車で運搬。
（委　員）　糸魚川浄化センターは市民の方も公園利用をするので、運ぶ際は公園利用に支障がないよう、安全策をお願いしたい。
（委　員）　最終的な汚泥は明星セメントに持ち込んでいるが、その後どうしているのか。
（管理業者）明星セメントではセメントの原燃料となっている。国土交通省が、セメント工場がある地域については、汚泥を埋め立てるのではなく、地元企業でリサイクルするようすすめているので、基本的には地元企業に持ち込み、リサイクルしているのが現状。

・糸魚川市ガス事業譲渡及び上下水道事業包括委託の公募開始について
【質疑・意見】
（委　員）　どんな事業者が応募する想定なのか。
（事務局）　上下水道においては、ガス事業者と手を組んで出資会社を設立したうえで応募いただく格好となる。現在行っている妙高市を例にとると、「ＪＦＥ」が「北陸ガス」と手を組んで行っており、当市にも興味を示している。そのほかにも同業者への委託も想定している。

4　その他
【質疑・意見】
（委　員）　ホタルを飛ばすということで取り組みを行っていたが、ここ数年行っていない。今後はどういった方向性なのか。お金をかけないで美化をするのは大事だと思う。今後民間委託するとどうなるのか。
（事務局）　皆さんから気軽にお越しいただける環境というのは今後も続けていく必要があると思っている。現在、ホタルは行っておらず、アジサイを植えている。職員の手が空いた時に少しずつ美化活動を行っていく予定。ホタルについては、浄化センターのきれいにした水で飛ぶという事実が判明したため、そこで一区切りということで、その後の水質に変化がなければ問題ないと解釈できるため、ホタルを飛ばすことは、人的にも難しいため考えていない。
（委　員）　ホタルが飛んだからいいという話にはならないと思う。ホタルは継続してもいいかと思う。
（委　員）　以前、地区からホタルはもうやめよう、という話もあったが、この会議のなかでもう少し存続しようという形で集約したと記憶している。事務局のほうでよく検討して、

結論を出せばいいのではないか。

（事務局）　職員も人員減により、そういったところまで手が回らない状況もあるので、委員会としての意見を踏まえ、実際問題できるのかを含め事務局で検討させていただきたい。今後事業を委託する際、環境美化にあたり、ホタルに代わるものがあるのかどうかという提案をいただく中で、民間の知恵と力をお借りし何か検討できればいいかと考えている。

（委　員）　どこの部署が担当かはわからないが、糸魚川の自然水がどこにあるか、飲んでもいいのか、という情報を発信してもらえたらいいと思う。

7　閉会（14：50）

以上